

科目名		授業形態	担当教員名	
内部障害理学療法Ⅱ		講義・演習	小林 正明・中村 由果理	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（1 単位）		15 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
呼吸に関わる解剖学、運動学、生理学的な知識を学び実技を通して知識を整理する。呼吸器障害に対する評価方法と評価の流れを学ぶ。代表的な呼吸器障害の病態を理解し、基本的な理学療法が実施できる。吸引の基本的な技術を習得する。				
授業の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・内部障害領域における理学療法の意義を説明できる ・呼吸器系の解剖・構造を説明できる ・胸郭と肺の位置関係を説明できる ・画像所見、血液データや生理検査データを説明できる ・呼吸器障害の病態について説明できる ・呼吸理学療法の基本手技（コンディショニング、排痰法、吸引）ができる 				
授業計画				
回	内容			
1	呼吸リハビリテーションの目的・内部障害領域での理学療法士の役割と現状			
2	呼吸器系の解剖学・運動学・体表と肺の位置関係			
3	呼吸器系の生理学、血液ガス、生理検査データの解釈			
4	呼吸不全の病態と呼吸器疾患			
5	呼吸理学療法のための評価 医療面接とフィジカルアセスメント(聴診・打診)			
6	呼吸器障害における運動能力テスト、画像読影の基本			
7	呼吸理学療法の基本手技（コンディショニング）			
8	呼吸理学療法の基本手技（排痰法）			
9	呼吸理学療法の基本手技（呼吸困難改善のための手技）			
10	呼吸理学療法の基本手技（運動療法）			
11	酸素療法と呼吸理学療法			
12	慢性呼吸不全に対する理学療法			
13	急性呼吸不全に対する理学療法・人工呼吸療法・吸引			
14	吸引に関する方法と実際			
15	在宅での理学療法、まとめ（評価から治療の整理）			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	100%			
レポート・課題				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
15レクチャーシリーズ 内部障害理学療法学 呼吸 第3版	石川朗・玉木彰 編		中山書店	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
内部障害理学療法学テキスト（シンプル理学療法学シリーズ）	監修 細田多穂		南江堂	
自由記載				
備考				
積極的な姿勢で臨むこと。				